



横浜トリエンナーレサポーター
Hama-Treats!
ハマトリートツ!

OMOTENASHI MAP

表紙には書き込みの無い地図を大きく配しました。
お気に入りの場所、思い出の場所、実際に歩いて発
見した場所、いつか行きたい場所などを書き込んで
自分ならではの“おもてなしマップ”に仕上げた
みましょう。あとは誰かと持ち寄って自慢しあうのも
よし、ピンナップして眺めるのもよし、自分なりの楽し
み方を見つけてください。
さあ、マップを持って出かけましょう!

海

OMOTENASHI MAP

おもてなしマップ「海」
港町、横浜、「現代の横浜と海」、
「横浜の歴史と海」をテーマに海
や水にまつわる場所をご紹介します。



1 横浜ランドマークタワー SKY GARDEN
通常営業 10:00~21:00(最終入場20:30まで) ■入場料 大人(18~64歳以下) ¥1,000 / 65歳以上・高校生 ¥800 / 小中学生 ¥500 / 幼児(満4歳以上) ¥200
港の景色を一望するなら高いところへ、みなとみらい地区の象徴であるランドマークタワーの展望フロアがおすすめ。フロア内にあるお店「TOWER SHOP」には600アイテムにもなるオリジナルグッズがあり、お土産にも最適。



2 シーバス待合所(横浜ベイオータター内)
横浜駅東口駅 ■横浜駅きた東口Aより徒歩3分
横浜駅東口からシーバスに乗ると、海を渡って山下公園や赤レンガ倉庫、みなとみらい方面へ向かうことができる。港町横浜ならではの移動手段であるシーバスによって、海から横浜を見つめてみよう!



3 臨港パーク
緩やかな斜面になった芝生で潮風に吹かれながら食べるお弁当は最高! 幸せそうな家族連れやカップルだけでなく、港を眺めて一人で過ごしたい、そんなアナタにもおすすめの場所。



4 JICA横浜
みなとみらい線 馬車道駅より徒歩8分
海の方ごうの開発途上国への国際協力を行う機関。2階には図書資料室や海外移住資料館があり、一般の方も利用可能。3階には「港が見えるレストラン Port Terrace Café」があり、テラス席から海を眺めつつ、国際色豊かな料理を味わえる。ハラル食材を使用したメニューや、ベジタリアン向けメニューもあり、お値段もリーズナブル!!



5 シーバス(水上バス)
運賃 横浜駅東口~みなとみらい 大人 ¥420 こども ¥210
「山下公園のりば」、「ピア赤レンガのりば」、「みなとみらいのりば」、「横浜駅東口のりば」がある。さまざまな移動手段のある横浜で、気軽に海路での移動を楽しむのが水上バスの「シーバス」。大人へのおススメは海を眺めながらのビール! 横浜駅東口からみなとみらいまで所要時間10分。



12 プリリアショートショートシアター
通常営業時間 10:00~22:00 ■休館日 火曜日 ■みなとみらい線 新高島駅4番出口より徒歩5分
日本初のショートフィルム専門の映画館。1プログラム60分で世界のショートフィルムが数本上映される。毎週金曜日は「1ベア DAY!」2人で ¥1,500。



13 横浜美術館
開館時間 10:00~18:00(入館は17:30まで) ■休館日 木・年末年始 ■みなとみらい線 みなとみらい線3番出口からマークイズみなとみらいより徒歩3分 / JR線・横浜市営地下鉄線 桜木町駅より徒歩10分。
1989年開館。約1万点の所蔵品を有し、開港以来の近・現代美術をコレクション展、企画展で幅広く紹介するほか、多彩なワークショップを行うアトリエや美術情報センターを有する。ヨコハマトリエンナーレ2011と2014主会場のひとつ。設計は丹下健三。



14 新港ピア(新港ふ頭展示施設)
みなとみらい線 馬車道駅 6番出口より徒歩13分
ヨコハマトリエンナーレ2014の全会場のひとつ。横浜トリエンナーレ2008の会場でもあり、ヨコハマトリエンナーレ2011では特別連携プログラム新・港村~小さな未来都市(Bank Art Life III)が開催された。現在は入場できません。



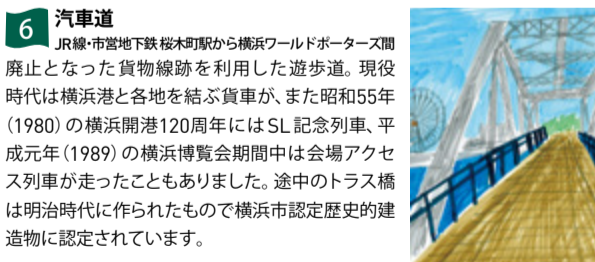
15 横浜みなとみらいホール
開館時間 9:00~22:00 ■アクセス みなとみらい線 みなとみらい駅 クイーンズスクエア横浜連絡口より徒歩3分
1998年に開館した音楽専用の「海の見えるコンサートホール」。大ホールには横浜にちなみ「かもめ」の彫刻が施されたパイプオルガンがある。館長は作曲家の池辺晋一郎。



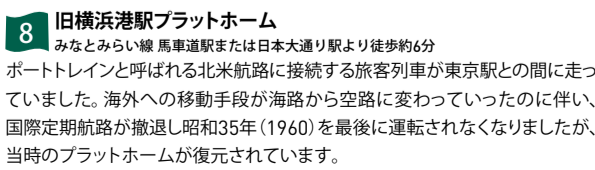
16 Fuji Xerox Art Space(富士ゼロックスアートスペース)
開館時間 平日 11:00~19:00 ■休館日 土・日・祝 ■JR線・横浜市営地下鉄線 桜木町駅より徒歩8分 / みなとみらい線 新高島駅 3番出口より徒歩3分 富士ゼロックスR&Dスクエア1F ■入場無料
2010年に富士ゼロックスの研究・開発拠点(R&Dスクエア)の1Fにオープンした、ユニークな美術作品鑑賞スペース。200名を超える作家の作品を蒐集した国内屈指の版画コレクションの中から作品を選び、年に数回、企画展を開催している。



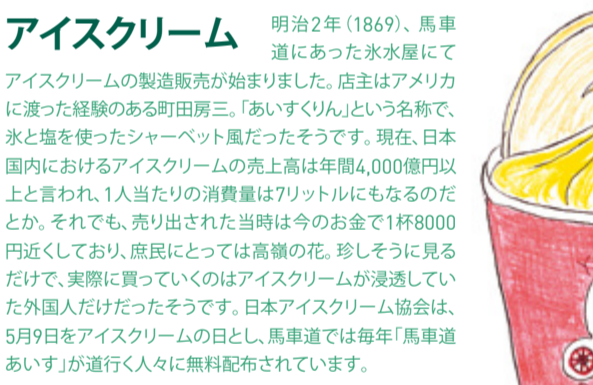
鉄道 新幹線からローカル線まで、日本全国を縦横無尽に走り回る鉄道路線。その始まりは、明治5年(1872)新橋~横浜間に開業した路線から延びていったものです。当時の横浜駅は現在のJR桜木町駅、新橋駅は汐留に当たり、片道を53分で結んでいました。徒歩で半日以上、馬車で4時間以上掛かるこの区間をわずか1時間で結んでしまうというかなりの俊足ぶり。ですが、きつぱは相当な額であり、今日のように庶民が気軽に乗ることができるものではありませんでした。明治20年(1887)には国府津まで延長され、鉄道は西へ西へと延びていきます。翌々年には神戸までつながり現在の東海道本線が形成されます。開業当時の横浜駅は行き止まり式で、到着する列車はすべて進行方向を変えなくてはならず、これを解消するため、大正4年(1915)には高島町に横浜駅を移設、従来の横浜駅は桜木町駅となりました。



6 汽車道 JR線・市営地下鉄 桜木町駅から横浜ワールドポーターズ間廃止となった貨物線跡を利用した遊歩道。現役時代は横浜港と各地を結ぶ貨車が、また昭和55年(1980)の横浜開港120周年にはSL記念列車。平成元年(1989)の横浜博覧会期間中は会場アクセス列車が走ったこともありました。途中のトラス橋は明治時代に作られたもので横浜市認定歴史的建造物に認定されています。



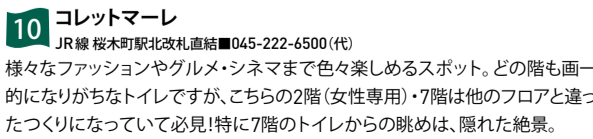
8 旧横浜港駅プラットホーム みなとみらい線 馬車道駅または日本大通り駅より徒歩約6分
ポートレインと呼ばれる北米航路に接続する旅客列車が東京駅との間に走っていました。海外への移動手段が海路から空路に変わっていったのに伴い、国際定期航路が撤退し昭和35年(1960)を最後に運転されなくなりましたが、当時のプラットホームが復元されています。



9 YOKOHAMA BASHAMICHI ICE みなとみらい線 馬車道駅および日本大通り駅より徒歩約6分 ■045-650-8707
明治時代のアイスクリームを現代風にアレンジした「横浜馬車道アイス」を製造・販売するお店。アイスクリームメーカーならではの美味しいメニューが並び、なかで、イチオシは店頭でしか食べられない「できたて横浜馬車道アイス」!



トイレ その昔は農作物を育てるための堆肥として、尿は大変な価値がありました。神社や寺院の参道、花見の名所などの観光地に私設の共同便所を設け、在近の農民が回収していたそうです。現在の衛生観念や羞恥心に基づくものではなく、どうしたら効率的に回収できるかという考えの下に作られたものと言えます。やがて横浜に外国人居留者が増え、今のように行政が管理する公衆トイレが登場します。明治4年(1871)、町会費が費用を負担し、大桶を地面に埋め込み板で囲ったものが街中の83箇所に設けられました。明治12年(1879)、実業家の浅野総一郎は、これに私財を投じて改良したものを63箇所に統廃合し、そこで回収された尿尿は干葉の農家に売却され、成した財が京浜工業地帯の埋め立て等に使われました。



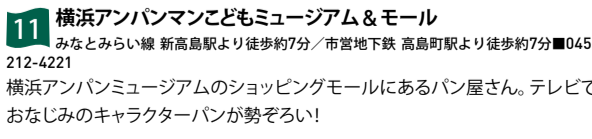
10 コレットマール JR線 桜木町駅北改札直結 ■045-222-6500(代)
様々なファッションやグルメ・シネマまで色々楽しめるスポット。どの階も画一的になりがちなトイレですが、こちらの2階(女性専用)・7階は他のフロアと違ったつくりになっていて必見! 特に2階のトイレからの眺めは、隠れた絶景。



中心 OMOTENASHI MAP
おもてなしマップ「中心」
横浜港の歴史とともに、国際色豊かな都市として発展し始めた横浜。そんな背景から、さまざまな日本で初めのものが生まれました。横浜が「中心」となり発信された文化と、スポーツをご紹介します。



食パン 日本のパンは天文12年(1543)、鉄砲とともにポルトガルから種子島にやってきたと言われてます。その後キリスト教の伝播とともにパン食という文化も日本人の間で知られるようになりました。が、依然主食はお米。やがて江戸時代に開国によってたくさん外国人が居留してくるとパンの需要も増えていったのです。彼ら高層や私邸で働いていた日本人が製パン技術を身につけ、万延元年(1860)内海兵吉が「和風パン屋」として、現在の横浜開港記念館のあたりにお店を開いたのが、日本におけるパン屋の始まりです。



11 横浜アンパンマン子どもミュージアム&モール みなとみらい線 新高島駅より徒歩約7分 / 市営地下鉄 高島町駅より徒歩約7分 ■045-212-4221
横浜アンパンミュージアムのショッピングモールにあるパン屋さん。テレビでおなじみのキャラクターパンが勢ぞろい!



17 《フルーツ・スイーツ》 横浜トリエンナーレ2001出品作品
チェ・ジョンファ



18 《モクモクワクワクヨコハマヨーヨー》
最上壽之



19 《小鳥と乙女》
オーガスト・マズリン・モロー



20 《マンドリンと少女》
オーガスト・マズリン・モロー



21 《フランクトン》
長谷川仁



忘却

OMOTENASHI MAP

おもてなしマップ「忘却」

幕末から明治のはじめに開港当時の街の変を生き生きと描いた「横浜絵」。『忘却』の彼方となったかつての風景に思いを馳せながら、MAPを片手に現代の横浜の街を歩いてみませんか？



22 横浜野毛伊勢山從海岸鉄道蒸気車ノ図

現在地: 西区宮崎町64 / 年代: 明治7年(1874) / 作者名: 三代歌川広重
花見の季節、大勢の参拝客で賑わう伊勢山の様子を描いています。参拝客には西洋人、中国人と思われる人々もみられます。図の右奥には現在の桜木町駅、当時の横浜駅がみえます。当社は元々戸部村海岸伊勢山の森の山上にあったものを明治3年(1870)年4月に現在の野毛山に遷座しました。



23 横浜鉄道館蒸気車往還之図

現在地: 桜木町駅(旧横浜駅) / 年代: 明治6年(1873) / 作者名: 三代歌川広重
明治5年(1872年)5月に日本で初めての鉄道が品川と横浜の間で開業し、9月には新橋と横浜の間で開通しました。桜木町駅の関内寄りには「鉄道発祥の地」の記念碑があります。現在の横浜駅が大正4年(1915年)に開業する前の43年間は桜木町駅が横浜駅でした。アメリカ人のR.P.ブリジンスが設計した駅舎は新橋駅と同じ形をしており、機関車・客車・貨車などは全てイギリスから輸入されました。

24 野毛村切通シヨリ横浜入口

吉田野毛橋本町エモン坂

大門遊女屋町并横浜本村遠景

現在地: 中区野毛3丁目付近 / 年代: 万延元年(1860) / 作者名: 五雲亭貞秀
安政6年(1859)3月、横浜開港場の建設のため突貫工事が開始されました。まず東海道と横浜を陸路でつなぐため野毛山を削って横浜道が建設されました。図はその切通しの所から横浜見物にやってきた人達が新しく出来た横浜を見て驚いている場面です。眼下には、まだ多くの沼地が見えます。



25 横浜鉄橋之図

現在地: 吉田橋(中区伊勢佐木町入口) / 年代: 明治3年(1870) / 作者名: 五雲亭貞秀
それまで木製の橋であった吉田橋は明治2年燈台技師プラントンの設計によって鉄の橋に代わりました。図を見ると洋服姿の外国人とまだちよんまげ頭の日本人、乗合馬車や当時の風俗も描かれています。画面右手が伊勢佐木町方面、橋を渡って左手、海に向かってのが馬車道です。この橋は通称「カネの橋」として愛されました。その後一度は消滅し、川もまた自動車道路になりましたが、現在の作品などを参考に復元され再び人々に親しまれています。



海

OMOTENASHI MAP



26 掃部山公園

JR線 桜木町駅より徒歩15分
横浜開港に貢献した井伊直弼の銅像が建つところ。読めますか? 「かもんやまこえん」。井伊直弼の官位が掃部頭(かもんのかみ)だったことから名づけられた。今の横浜の繁栄はあなたのおかげかも。ありがと直弼さん。そしてここは桜の名所。



27 桜木町駅前(横浜市電)

1972年に廃止された横浜市電。その本線はちょうどJR根岸線と同じように、桜木町駅前から本町に向かって海と平行に走っていた。



28 伊勢山皇大神宮

JR線 桜木町駅より徒歩10分 ■京浜急行線 日ノ出町駅より徒歩10分
境内にある神社、杵屋宮(きづきのみや)は、養蚕・海運関係者の信仰が篤く、生糸及び蚕種の守護神として崇敬を集めた。

30 若葉飛行場 跡地(伊勢佐木町)

第二次世界大戦後、米軍に接収され軽飛行機の発着場となっていた。海に向かって飛んでいく飛行機が周辺に見えた戦後すぐの横浜。



29 大岡川 屋形船

円海山を源流にみなとみらいまで、横浜を南北に流れる大岡川。桜が咲く春先は南区、中区で桜まつりが開催され、にぎやかなハレの舞台になる。川面に映る桜とみなとみらいを望む風景は圧巻。河口の弁天橋からは屋形船が出ており、川・海から横浜を楽しめる。



31 日ノ出湧水

京浜急行線 日ノ出町駅または黄金町駅より徒歩5分
明治時代には横浜港に寄港する船舶に飲用水を供給し、関東大震災の時は非常用水として活用された湧水。今は夏の納涼打ち水大作戦で活用されている。



32 大井戸(日ノ出町)

江戸時代に初代吉田勤兵衛が「吉田新田」を開いたときに掘られた井戸。吉田新田とは、入り海であったところを埋め立てた土地。



33 《笹と少年》

若野勇三



34 《三つの部分からなるオプジェ》

ヘンリー・ローア



35 《暎想》

オーギュスト・ロダン



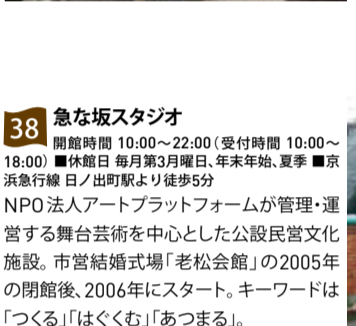
36 初黄・日ノ出町地区高架下スタジオ

京浜急行線 日ノ出町駅より徒歩5分 黄金町駅より徒歩8分
京浜急行線 日ノ出町駅から黄金町駅の間にある高架下のアートスペース。アーティストのアトリエの他、アートや美術に関する古書を扱うアートブックパザール、アーティストグッズを販売するパザール、ギャラリー、飲食店、集会場などが建ち並ぶ。また、多目的に利用できる広場などもある。



37 CROSS STREET

利用時間 9:00~22:00 ■京浜急行線 日ノ出町駅・市営地下鉄線 伊勢佐木長者町駅より徒歩6分
芝居や寄席の発表、ギャラリー、上映会などにも使用可能な多目的スペース。「音楽、文化、人々が交差する場所となるように」との願いを込めて人気デュオ「ゆず」のふたりが命名した。伊勢佐木町商店街が運営する。

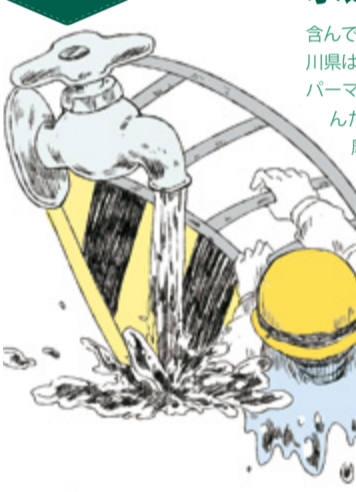


38 急な坂スタジオ

開館時間 10:00~22:00(受付時間 10:00~18:00) ■休日 毎月第3月曜日、年末年始、夏季 ■京浜急行線 日ノ出町駅より徒歩5分
NPO法人アートプラットフォームが管理・運営する舞台芸術を中心とした公設民営文化施設。市営結婚式場「老松会館」の2005年の閉館後、2006年にスタート。キーワードは「つくる」「くむ」「あつまる」。

中心

OMOTENASHI MAP



水道

開港前の横浜は小さな漁村でした。人口増加によって形成された市街地も、そのほとんどが埋立地。水源として井戸を掘るも塩分を含んでいたり、良質な水を得ることは難しかったのです。そこで当時の神奈川県は、中国広東や香港で水道建設の実績があったイギリス人技師ヘンリー・S・パーマーを招聘し、横浜水道建設の任に当たられました。彼が水源として選んだのは、津久井郡三沢村三井を流れる相模川支流の道志川。かつては多摩川から水を引いたものうまくいかなかった例もあり、40キロ以上離れた山里から水が届け、これをめくって届けさせた庶民もいたとか。明治20年(1887)9月20日工事の全工程が終わり、10月4日は野毛山の配水池に道志川の水は無事に届いたのでした。

39 近代水道発祥の地の碑

京浜急行線 日ノ出町駅より徒歩約15分
遠く津久井からやってきた水は、ここ野毛山にて濾過などの処理をされて各所へと配水されていました。関東大震災で被災したため浄水場としての機能は廃止されましたが、現在でも配水池として活用されています。近代水道の父であるヘンリー・S・パーマーの像も傍で見守っています。



西洋理髪

明治4年(1871)に出された断髪令。これに先立つ明治2年(1869)、山下町に日本で初めての西洋理髪店が開業しました。「ザンギリ頭を叩いてみれば文明開化の音がする」と歌を詠み、それまで結っていたちよんまげを切るよう促しました。ちよんまげは日本の伝統であり誇り、けれどもちよんまげを切り洋装することで、日本の近代化を欧米に知らしめようと言うのが明治政府の考え方。というものの、断髪を守らなくとも罰せられることもなく、かなりリーズナブルな運用だったようです。断髪令に従ってまげを落とした夫を見て「気持ち悪い」と離婚した夫婦がいたり、まげの切り落とすに反対して暴動が起きたり、素直に受け入れられるものではなかったようです。しかし明治6年(1873)、明治天皇が自ら断髪を行うと、民衆の断髪も次第に浸透していったのだとか。

40 柴垣理容院

京浜急行線 黄金町駅より徒歩約5分 ■045-231-4212
断髪令の発せられた明治4年に開業した西洋理髪店。140年を経た現在でも営業中であり、横浜で、イキ日本最古!現在は3代目のご主人が継がれています。



サンマーマン

横浜のラーメンと言うと、とんこつ醤油スープのいわゆる「家系ラーメン」を連想される方もいらっしゃると思いますが、こちらはやはりを中心とした野菜炒めのあんかけが乗ったラーメン。神奈川県のご当地グルメです。横浜の中華料理屋で隣い飯として出されていたものだと、物質の少ない時代に考案されたメニューだとか、その起源には様々な説があります。サンマーマンを漢字で書くと「生碼麵」だったり「三碼麵」だったり。前者はジャキジャキとした新鮮な具が乗った麺、後者はやはり、豚肉、ターサイの三種類の具が乗った麺、と言う意味があります。作り方、定義も、お店によってバラバラ。しかし少なくとも「肉と野菜や白菜を使用し、野菜はジャキッと手早く炒め、必ずとろみをつけてコクのある具に仕上げる事」は共通しているようです。

41 玉泉亭

JR線 関内駅より徒歩約13分 / 京浜急行線 日ノ出町駅より徒歩約12分 ■045-251-5630
こちらも大正7年(1913)から続く老舗。創業時には、中華料理、西洋料理、日本料理の意味で「三國料理」を銘打っていたそう。サンマーマンは2代目店主が考案。鮎とろみをつけて脂っこさを抑えようと、日本人の舌にあった形になっています。



鉄道

42 野毛山動物園内 横浜市電1518号車

JR線・市営地下鉄 桜木町駅より徒歩約15分
かつては横浜にも路面電車が走っていました。大正4年(1915)に開業し最盛期には20路線を有していましたが、自動車普及するにつれ交通渋滞の原因にもなり始めたことから、徐々に縮小が進み昭和47年(1972)に全廃されました。1518号車は最後まで活躍した車両のひとつ。

トイレ

43 昭和初期公衆便所

黄金町付近 / 本橋付近 / 霞橋付近
関東大震災の復興期に建てられた公衆トイレ。統合駅により数は減ったものの、今でも現役のものも幾つもあります。お洒落な初代が朝からほろ酔い気分が調理場に立つので全て「ぶつ切」に。今も変わらず、伝統の味を守り続けています。

牛鍋

奈良時代に最初の肉食禁止令が出されてからの約1200年間、日本では肉食が避けられてきました。労働用の牛馬はいたものの、それを食用とする考えはなかったよう。江戸時代末期の開国によって外国人居住者が増えてくると、食用としての牛肉と言う考え方がたらされ、文久2年(1862)入舟町にあった「伊勢熊」という居酒屋で牛鍋を供したのが始まりと言われています。肉の臭いを和らげるため、味噌やしょうゆと葱で煮込むのが「牛鍋」、一方の関西では平鍋で肉を焼いてから調味料を加える「すき焼き」が生まれ、これが牛鍋と融合し、割り下で煮込む開成式のすき焼きが出来上がったという説もあるようです。



44 太田なわのれん

京浜急行線 日ノ出町駅より徒歩約7分 ■045-261-0636
明治元年(1868)創業。店先に縄のれんをかけていたものが、そのまま店名になったとか。お酒好きな初代が朝からほろ酔い気分が調理場に立つので全て「ぶつ切」に。今も変わらず、伝統の味を守り続けています。

45 じゃのめや

JR線 関内駅より徒歩約12分 ■045-251-0832
明治26年(1893)創業。最上級の和牛で味わう、牛鍋・しゃぶしゃぶは、創業以来つづいて伝統の味。伊勢佐木町の歴史と共に歩んできた、明治の味わいを堪能できます。



46 横浜仏国役館之全図 現在地: 弁天通6丁目 / 年代: 明治5年(1872) / 作者名: 歌川国輝
慶応元年(1865)に横浜弁天社の付近に建設されたフランス公使館で、道の向うからは横浜と神奈川・川 / 河津を結んでいた渡し舟が出ていました。フランス公使館といえながら、旗はイタリアの国旗が描かれています。横浜絵では国旗の間違いがよくあるといえます。



47 横浜交易西洋人荷物運送之図 現在地: 横浜港沖 / 年代: 文久元年(1861) / 作者名: 五雲亭貞秀
横長の画面に交易で賑わう横浜港の様子を描いています。そこにはイギリス、アメリカ、フランス、オランダなどの外国船が停泊し活発な荷物のやり取りが行われています。実際にはこれほどの繁栄ぶりではなかったのですが、江戸の人々に異国との取引の様子を生生きと伝えたいという貞秀の意志が伝わってきます。



48 横浜本町一丁目角三井店 / 前ヨリ東海道生麦予遠景并神奈川洲崎明神ヨリ此本町壱丁目迄渡船有
現在地: 中区本町4丁目 / 年代: 万延元年(1860) / 作者名: 五雲亭貞秀
江戸幕府は、横浜で外国との貿易を始めるにあたり、江戸の有力商人に出入を命じました。その代表格は三井で、現在の本町通りと馬車道とが交差する、ローソンが所在する角に店舗をかまえました。当時は、本町や弁天通りなどの日本人居住区にある通りは、一丁目～四丁目目が現在は逆の順番でふられていました。大八車に乗せた荷物が行き交い、カニで遊ぶ子どもたちや旅人、頭の上に蕎麦をのせて運ぶ男、店舗の内部など、開港場横浜の繁盛を描いた一枚です。



49 神名川横浜新聞港園
現在地: 中区本町4丁目 / 年代: 万延元年(1860) / 作者名: 五雲亭貞秀
当時横浜のメインストリート本町通り、「横浜本町一丁目角三井店 / 前ヨリ…」の図の描く方向から90度右に方向を変えて、現在の4丁目辺りから山手の方を望む構図で描いています。その町並みは、遠近法を用いて画面に奥行きと立体感を与えています。手前左の建物は三井呉服店の出で、両替商として幕府とのつながりもあり、横浜の金融を一手に握っていました。



50 横浜海濱通之図
現在地: 象の鼻沖(中区新港1丁目付近から望む) / 年代: 明治3年(1870) / 作者名: 三代歌川広重
活発な交易の作業が行われている横浜の港の情景を描いています。この頃は棧橋が完備されておらず、船舶は沖に停泊しており、はしけによる荷役が行われていた様子が描かれています。荷揚場うしろの三つの塔を持つ建物は英国領事館(現在の横浜開港資料館)で、丸が見える建物は外交と税関の事務を取り扱う運上所(現在の県庁のあたり)です。



52 横浜純宅之図
現在地: 象の鼻棧橋付近 / 年代: 文久元年(1861) / 作者名: 五雲亭貞秀
安政6年(1859)に開港した横浜の外国人居留地近くの東波止場(イギリス波止場)付近を行進する軍隊風景です。色とりどりの服装で行進する異人の掲げる旗は、仏、蘭、米、英、露の5カ国です。純宅とはオランダ語のZondag(日曜日)のごとで、休日を楽しむ異人達を描いています。長崎版画「紅毛人、道中ハヤシ方行列之図」を原拠としています。



51 神名川横浜華郭之光景
現在地: 横浜公園(スタジアム) / 年代: 万延元年(1860) / 作者名: 五雲亭貞秀
港崎(みよざき)遊郭から横浜の中心地を望む図として描かれています。約一万五千坪に及ぶ広大な沼地を埋め立てて、安政6年(1859)6月2日の開港から少し遅れた11月に完成しました。中でも最大の構屋として賑わった岩亀樓の灯籠は、横浜公園内の横浜スタジアムにある日本庭園に現存します。



53 BankART Studio NYK (BankART1929)
みなとみらい線 馬車道駅 6番出口より徒歩4分
2004年より旧第一銀行と旧富士銀行の二つの歴史的建造物を文化芸術創造都市の拠点施設として活用する目的で始まったプロジェクト。2005年からは日本郵船横浜海岸通倉庫に移転しBankART Studio NYKの運営がスタートした。ヨコハマトリエナーレ2008、2011の会場でもあった。



56 (二ヶとニコラ)
朝倉誓子



57 ヨコハマ創造都市センター
みなとみらい線 馬車道駅 1b出口(アイランドタワー連絡口)直結
1929年に旧第一銀行横浜支店として建造された横浜市認定歴史的建造物を利用して運営している。2009年にオープン。アートイベント情報収集ならまずはこちらへ。横浜らしいメニューを味わえるカフェもおすすめ。



54 東京藝術大学大学院映像研究科(旧富士銀行横浜支店映像文化施設)
みなとみらい線 馬車道駅 5・7出口よりすぐ
旧富士銀行の建物であり、2004年まで「BankART Studio 1929 馬車道」だった。この馬車道校舎には映画専攻があり、ほかにもメディア映像専攻は新港校舎、アニメーション専攻は万国橋校舎にある。



55 《財布をくわえた犬(どうしようかな?)》
藤原吉志子



58 象の鼻テラス
入場無料・年中無休(年末年始を除く) ■みなとみらい線 日本大通り駅出口より徒歩3分
ベリイ提督が初めて横浜に上陸した場所でもある象の鼻パーク。名前は堤防の形が象の鼻に似ていることに由来する。象の鼻テラスは、2009年にアトスペースを兼ね備えたレストハウスとしてオープン。名物の「ゾウノバナソフトクリーム」¥400は食べるのもつたないかわいさ!大人のお楽しみ横浜地ビール「ZOU-NO-HANA-BEER」も!



59 水の広場(横浜公園)
JR線 関内駅(南口)より徒歩5分
動物をかたどった4体の噴水がある。それぞれ、馬は馬車道、獅子は市庁舎、龍は中華街、イルカは港の方角を向いている。イルカの向く方へ進めば海が見える!

60 横浜スタジアム
JR線 関内駅(南口)より徒歩2分
横浜公園内にある横浜スタジアム(通称「ハマスタ」)は、プロ野球「横浜DeNAベイスターズ」の本拠地。海からの風が心地いい屋根のない球場で、勝ちゲームを観戦しつつ味わうビールは最高!! 横浜DeNAベイスターズのオフィシャルショップが併設されており、レプリカユニフォームをはじめとした応援グッズのほか、球団プロデュースの日用雑貨なども。野球ファンのみならず、横浜のお土産としてもおすすめ。



61 日本郵船歴史博物館
休館日 月曜日 ■開館時間 10:00~17:00(最終入館16:30まで) ■入館料 大人 ¥400 中学生 ¥250 ■みなとみらい線 馬車道駅(6番出口)より徒歩2分
ここに来れば、日本海運史がわかる! 氷川丸とのセット入館券があり、大人 ¥500、中学生 ¥300とお得。歴史に興味なくても、ミュージアムショップも楽しめる。船をモチーフにしたグッズが取り揃えられており、飛鳥IIや氷川丸モチーフのグッズがかわいい!



新聞 江戸時代には日本の新聞とも言えるような「から版」がありました。一方、開国後の日本に居留するようになった外国人の間では、外国語で書かれた新聞がすでにいくつ流通していました。日本に住む外国人向けの新聞でしたが、外国語を習得した幕臣や藩士たちにも読まれていたようです。その後日本人向けとして、外国語で書かれた新聞を翻訳した「海外新聞」がジョセフ・彦により発行され、明治3年(1870)には当時神奈川県知事だった井原盛良が横浜の貿易商らに呼びかけ、日本語の日刊新聞「横浜毎日新聞」が刊行されました。これが日本における初めての日本語日刊新聞であり、改題を繰り返しながら昭和16年(1941)まで発行され続けました。

62 日本新聞博物館
みなとみらい線 日本大通り駅3番情報センター直結 ■045-661-2040
世の中の出来事を伝えてきた日本の新聞が、どのような歩みか、どのように作られて読者の手に届けられているかを、貴重な実物資料や映像などで分かりやすく紹介。新聞作りが体験できる「新聞製作工房」などもあります。

水道
63 獅子頭共用栓とブラフ溝
開港資料館中庭 ■みなとみらい線 日本大通り駅 3番出口より徒歩2分
水道創設当時、市内各所に設けられていた共用栓です。今のように各家庭に蛇口が引かれていることは少なく、このような共用栓を利用していました。きれいで安全な水が供給されたことにより、疫病蔓延の防止など衛生状態の向上にも貢献しました。

トイレ
64 開港場
みなとみらい線 日本大通り駅より徒歩約6分
浅野総一郎が改良した63箇所のトイレのうちひとつ。同時期に築造されたレンガ造りマンホールと下水管も残っており、開港場にてガラス越しに見ることができます。

ビール 江戸時代には長崎の出島にてオランダ人による自家用ビールの醸造が行われていたようですが、日本で始めて商業としてのビール醸造を行ったのは、横浜に住むアメリカ人ウィリアム・コーブランドが明治2年(1869)に設立した「スプリング・ヴァレー・ブルワリー」です。現在の中区千代崎町周辺で湧いていた良質の硬水を使用したもので、その現物は今日の麒麟麦酒に受け継がれています。工場内には路面電車の引込み線が設けられ、全国でも珍しいビール輸送専用の市電が走っていたこともありました。ビール醸造で使われた車両は磯子区の市電保存館に、ビール作りに使われた井戸は「ビール井戸」として、北方小学校に今でも残っています。

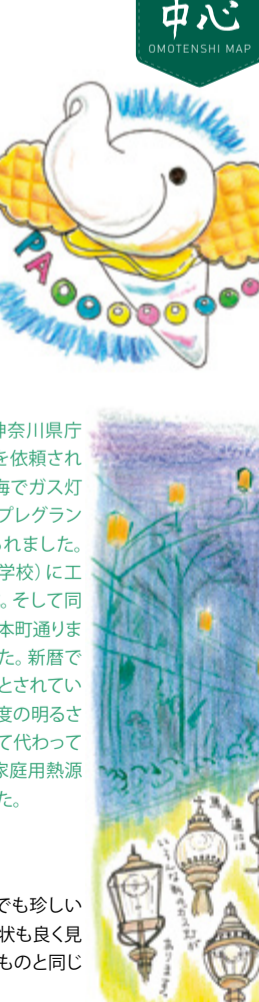
66 YB Shop 驛カフェ
JR線 桜木町駅および関内駅より徒歩約6分 ■045-210-0264
こちらも横浜ビールの直営店。みなとみらい線 馬車道駅より直結のコンビニと併設したユニークカフェ。フードメニューも充実しており、ランチを取りながら横浜ビールで一杯なんてことも。コーヒーはいつでもおかわり自由なのが嬉しいところ!

牛鍋
67 荒井屋 万國橋店
みなとみらい線 馬車道駅6番口・赤レンガ倉庫口から徒歩約2分 ■045-226-5003
明治28年(1895)創業。平日もお昼は横浜発祥の牛鍋をリーズナブルに味わえる「牛鍋は五感で味わう究極の料理の一つ」という自負から、素材と伝統の味にこだわった逸品が味わえます。

アイスクリーム
68 象の鼻カフェ(象の鼻テラス内)
みなとみらい線 日本大通り駅出口より徒歩約3分 ■045-680-5677
象の鼻に来たのならこれを食べなさい! ワッフルとチョコチップでできた象さんのソフトクリームがあります。時期によっては違う味も楽しめます。アイス以外にも象にちなんだフードもおすすめ。

ガス事業 明治3年(1870)、神奈川県庁からガス灯の建設を依頼された高島嘉右衛門が「日本社中」を設立。上海でガス灯建設を行っていたフランス人技師アンリ・プレグナンを招いて日本で最初のガス事業が進められました。工場は伊勢山下石炭蔵前(現在の本町小学校)に工場が設けられ、明治5年(1872)9月に完成。そして同月29日には、神奈川県庁付近から馬車道・本町通りまでの間にガス灯十数基が点灯したのでした。新暦で10月31日にあたるこの日は、ガスの記念日とされています。当時のガス灯は、ろうそくの1.5倍程度の明るさしかなかったそうで、やがては電灯に取って代わっていきます。その後ガスは工業用生成物や家庭用熱源など新たな用途として活用されていきました。

69 馬車道
みなとみらい線 馬車道駅周辺
日本で最初にガス灯が燃えた場所。世界でも珍しいアーチ状のガス灯も 있습니다。ガス灯の形状も良く見ると何種類もあり、イギリスの街中にあるものと同じタイプのものもあります。





70 港の見える丘公園
みなとみらい線 元町・中華街駅(6番出口)より徒歩5分
実はあまり港はよく見えないが、キリンの首(埠頭のクレーンが、キリンが首を伸ばしたように見える)がたぐさん見られ、夜景は綺麗。映画「コクリコ坂から」の中で、主人公の海ちゃんが掲げていた国際信号旗がはためいている。旗の意味は「ご安航を祈る」。



71 フランス山(港の見える丘公園)
みなとみらい線 元町・中華街駅(6番出口)より徒歩5分
幕末から明治初頭にかけてフランス軍が駐屯していたことから、フランス山と呼ばれる。木が生い茂った静かな場所。横浜市緑区で起きた米軍機墜落事件を語り継ぐ「愛の母子像」前から海がよく見える。



72 ヨコハマおもしろ水族館/赤ちゃん水族館
年中無休 ■開館時間 平日11:00~20:00 土日祝10:00~20:00(最終入館19:30) ■入館料 大人(中学生以上) ¥1,400 小人(4歳以上) ¥700 ■JR線 石川町駅 中華街口より徒歩5分/みなとみらい線 元町・中華街駅2番出口より徒歩5分
こんなところに水族館が! 中華街の中にある水族館。400種類、10000匹の魚を見ることが出来る。



73 大さん橋
みなとみらい線 日本大通り駅(3番出口)より徒歩約7分
海からの日の出を眺めるのがおススメ。早起きしてぜひ感動を味わって! みなとみらいやベイブリッジが一望でき、入港した豪華客船を間近に観ることもできる。2014年3月、クイーン・エリザベスが入港し大盛り上がりしたのもここ。



74 山下公園
関東大震災の瓦礫で海を埋め立てて作られた公園。戦後、米軍に接収されていた時期は入ることができなかった。今では港の風景や様々な季節の花も楽しめる憩いの場。



75 日本郵船 氷川丸
休船日 月曜日 ■開館時間 10:00~17:00(最終入館16:30まで) ■入館料 大人 ¥300 小中高生 ¥100 ■みなとみらい線 元町・中華街駅(4番出口)より徒歩3分
かつては「北太平洋の女王」と呼ばれ、今は山下公園に係留されている氷川丸。乗船口に隣接しているお店「ボードウォークショップ」では、船同士がコミュニケーションをとるための信号旗モチーフのバッグや、伝統あるドライカラー「氷川丸カラー」など販売中。



80 横浜波止場ヨリ海岸通異人館之真図
現在地: 象の鼻パーク/年代: 明治初期/作者名: 三代歌川広重
「横浜波止場」とは慶応3年(1867)に建設された石積みの棧橋です。それは象の鼻のように湾曲した形状でした。画の右上は、棧橋の東側(現在の山下町)の風景で、海岸通と外国人居留地の商館が描かれ、さらに背景の高台に山手の居留地の建物が見えます。海岸通から海に突き出る小さな棧橋は「フランス波止場」です。手前の波止場を日本人や外国人が散策し、港内の外国船を見物しています。開港150周年の平成21年(2009)に復元されました。



81 横浜三番商館繁栄之図
現在地: 中区山下町22/年代: 明治4年(1871)/作者名: 三代歌川広重
表題から、手前に描かれている建物は、アメリカの3番目に建てられた商館であることがわかります。奇楼造り2階建外壁石張り、四隅にキーストーンを配した本格的な西洋建築です。左奥にイギリス領事館が見えているところから、この図が正確に描かれているとすると、当時の居留地22番あたりに該当します。

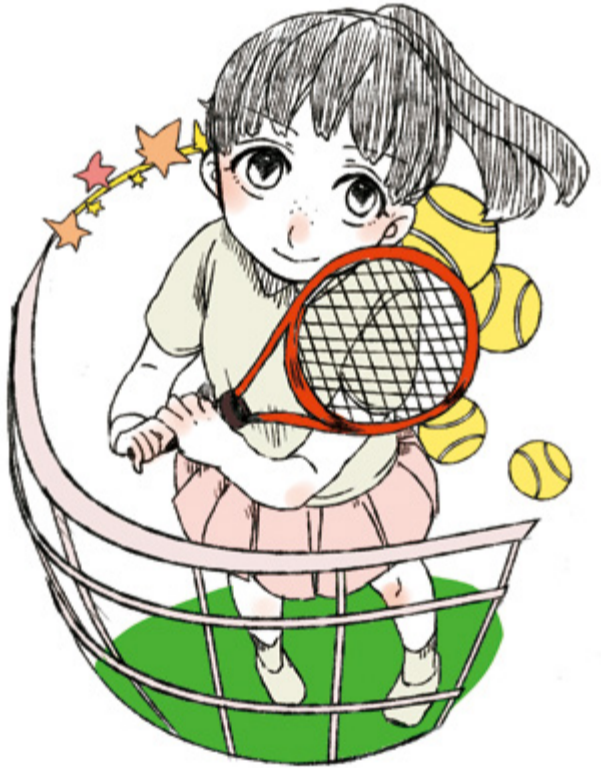


82 横浜高台英役館之図
現在地: 中区山手町120/年代: 明治2年(1869)以前/作者名: 二代歌川広重
横浜の山手はそれまでの居留地が狭くなったため、慶応3年(1867)に新たな居留地として設けられました。この図の右手の建物がこの年に山手120番に建てられた英国公使館で、木造2階建て瓦葺造の山手で最大の洋風建築でした。手前の道には、同じく山手に駐留することになった英国の軍隊が行進をしています。



83 横浜商館天主堂ノ図
現在地: 中区山下町80/年代: 明治3年(1870)/作者名: 三代歌川広重
図は日本で最初に外国人への布教が認められた聖心教会を描いています。この教会は文久元年(1861)にジェラルド神父とムニク神父により居留地80番に建てられました。建物自体は中央に鐘楼を持つ外壁石張りの小さな造りで、それが分かります。現在、キリスト像と来歴を示す碑は転移して、みなとみらい線元町中華街駅3番出口前に建てています。

シーフードドリア
ナポリタン
プリン・ア・ラ・モード



フレンチスタイルの料理へのこだわりやGHQ将校の宿舎として活用した歴史から、シェフたちが力を注ぎ、料理を提供していたホテルニューグランド。その中から様々な洋食メニューが生まれました。初代総料理長サリール氏氏が、体調を崩した外国人客のために何か喉の通りの良いものをと考案したドリア。2代目総料理長入江茂忠氏が米兵のゆでたパゲッティに塩・コショウ・ケチャップをかけて食す様を見て考案したナポリタン。実際は、トマトケチャップは1滴も使われておらず、ナポリの屋台料理に似ていることから、その名を名づけられました。また、アメリカ将校夫人たちを喜ばせたいと考えて、当時のパティシエが考案したプリン・ア・ラ・モード。今でも広く知られる発祥メニューをはじめ、日本の食文化に多大な影響を与えました。

サンマーメン

87 聘珍樓 横浜本店
みなとみらい線 元町・中華街駅2番出口より徒歩約6分 ■045-681-3001
明治17年(1884)創業の老舗中華料理店。日本に現存する中国料理店として最も歴史のある屋号です。サンマーメンは昭和5年(1930)に当時の料理長さんが考案されたメニュー。1階の飲茶フロアでは、点心師の一つ一つ手作り、50種類以上の点心が楽しめます!

ガス事業

88 山下公園前
みなとみらい線 元町中華街駅より徒歩約3分
周辺地域の再整備に伴い昭和60年(1985)に設置され、同年のガスの日から点灯が始まりました。馬車道や本町小学校と同じく1灯のものがほとんどですが、ホテルニューグランド前の交差点には、2灯式のものが2基設置されています。

食パン

89 ウチキパン
みなとみらい線 元町・中華街駅5番出口より徒歩約1分 ■045-641-1161
イギリス人のロバート・クラークが営んでいた「ヨコハマペーカリー」で、ここで焼かれていたものは「イギリス風焼きパン」、今日の食パンの原型です。その衣鉢を引き継いだ打木彦太郎氏が明治21年(1888)に創業し今に続く老舗パン屋さん。一番人気の「イングランド」は創業以来焼かれている伝統の一品。

ボンパドゥル元町本店

90 JR線 石川町駅より徒歩約7分 ■045-681-3956
今や日本全国に店舗を構えるボンパドゥル。もともとは昭和44年(1969)に元町でオープンしたこの本店から始まりました。仕込みから焼き上げまで、約6時間かけて作るフランスパンが自慢です。

水道

91 インド水塔
みなとみらい線 元町・中華街駅より徒歩約3分 山下公園内
大正関東大震災で被災したインド人に対する横浜市民の援助に、インド商組合が感謝の意を込めて寄贈したインド式の水飲み場です。現在は水道管が外されており、実際に水を飲むことはできませんが、天井の模様は必見!

トイレ

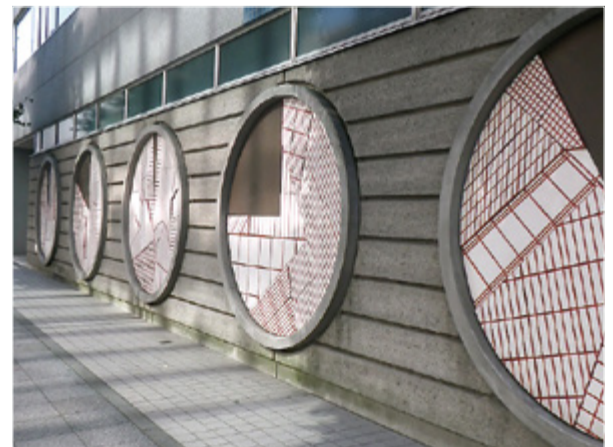
92 中華街の公衆トイレ「洗手亭」
みなとみらい線 元町・中華街駅より徒歩約10分
中国蘇州の伝統的民家を模した建物になっています。粘土瓦の屋根、陶板の外壁、瑠璃磚の飾り窓が特徴です。中国語でトイレは「洗手間」。洗手間の建物ということで洗手亭なのかも?



76 《風の標識》
大成浩



77 《赤い靴はいてた女の子像》
山本正道



78 《時を遡過する五つの円形捕虫網》
田辺和郎



79 《青い海》
山田真輔





横浜トリエンナーレサポーター
Hama-Treats! とは
ハマトリーツ!

3年に1回開催される現代アートの国際展「横浜トリエンナーレ」。2001年に始まり2015年までに5回開催されています。延べ425人のアーティストが参加し、計163万人以上の方々に楽しんで頂きました。そして「横浜トリエンナーレサポーター」は横浜トリエンナーレを盛り上げるボランティア活動として誕生しました。これまで、市民ならではの目線で、トリエンナーレという展覧会の広報を行い、また、主体的な活動を通じて多くの仲間を増やしてきました。今後は、2017年、そして、オリンピックイヤーの2020年に向けてさらに活動の輪を広げていきます。

登録者数 **1,584人**
2015年2月20日現在

ハマトリーツ!は愛称です。

サポーター活動の中で愛称を決めよう!という声が高まり、サポーターによる投票を経て決まりました。「トリーツ/Treats」には、「思わぬ喜び、とてもいいもの」という意味があり、横浜トリエンナーレ(ヨコトリ)を通して愛する横浜の“Treat”を広く世界に発信していく人たちという意味が込められています。

私たちハマトリーツ!は、こんな活動をしています。



トリエンナーレ学校

現代美術の国際展やアートについて学ぶ講座です。多彩な講師をお呼びし、楽しくアートに関する知識を学びます。月に1回程度開催。



チーム活動

ハマトリーツ!の自主的な活動として、チーム活動があります。「イベント・企画」「フリペ」「子どもアート」「LOGBOOK」という4つのテーマに沿って活動しています。



遠足イベント

ハマトリーツ!が企画運営する遠足。著名な作家の展覧会を巡ったり、他都市で行われている現代美術の国際展に出かけることもあります。観た後はサロンで感想を交換します。



カウントダウンイベント

みなとみらい21地区に遊びに来た方々に横浜トリエンナーレを広報するイベント。ヨコトリ2014に向けては300日前から100日ごとに開催しました。



フリペづくり

ハマトリーツ!の活動を広報するため、フリペチームが主体となって手作りフリーペーパーを制作しています。二カ月に1回程度の発行。横浜美術館で配布しています。



アーティスト制作サポート

横浜トリエンナーレ参加作家の中には制作のサポートが必要な場合があります。アーティストを身近に感じる機会として、楽しく作業に参加できます。



鑑賞ガイド

少人数でまわるツアーで来場者をおもてなし。ヨコハマトリエンナーレ2014では、ハマトリーツ!がガイドとして鑑賞ツアーを行いました。



ワークショップ・イベント

ヨコハマトリエンナーレ2014の来場者を対象に親子で楽しめるイベントやみなとみらい21地区を航海するまち歩きLOGBOOKイベントをチーム活動として実施しました。



来場者への情報提供

ヨコハマトリエンナーレ2014では、来場された方に横浜の魅力を伝えるべく、おもてなしマップをはじめ、様々な情報を提供しました。

おもてなしマップ『忘却』

The Map of "Oblivion"

幕末から明治のはじめに開港当時の街の姿を生き生きと描いた『横浜絵』。「忘却」の彼方となったかつての横浜の風景を紹介しています。



おもてなしマップ『海』

The Map of "Sea"

港町、横浜。表面は「現代の横浜と海」、裏面では「横浜の歴史と海」をテーマに、海や水にまつわる場所を紹介しています。



おもてなしプロジェクトとは

横浜トリエンナーレサポーター「ハマトリーツ!」が集めたおすすめ情報をもとに「おもてなしマップ」をつくり、ヨコハマトリエンナーレ2014来場者やみなとみらい21地区に遊びにきた方々に横浜の魅力をお届けするもの。企画の立案から情報収集、そしてマップの編集・デザインを市民ボラン

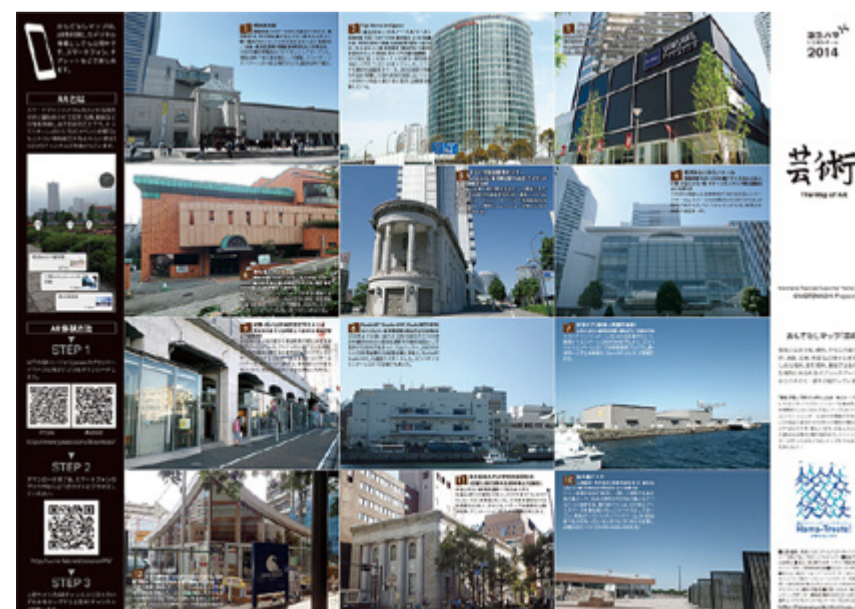
ティアであるハマトリーツ!が全て行ってきました。完成したおもてなしマップは「忘却」「海」「芸術」「中心」の4種類。これらのタイトルは、ヨコハマトリエンナーレ2014のタイトル「華氏451度の芸術:世界の中心には忘却の海がある」からきています。港町ヨコハマを代表

する特徴から意外に知らなかったことまで、幅広い情報が収集されています。本書はそれら4つのマップを再編集し、1冊のリーフレットにまとめたものです。この「おもてなしマップ」を手にまちを歩いて、横浜の魅力に触れてみてください。

おもてなしマップ『芸術』

The Map of "Art"

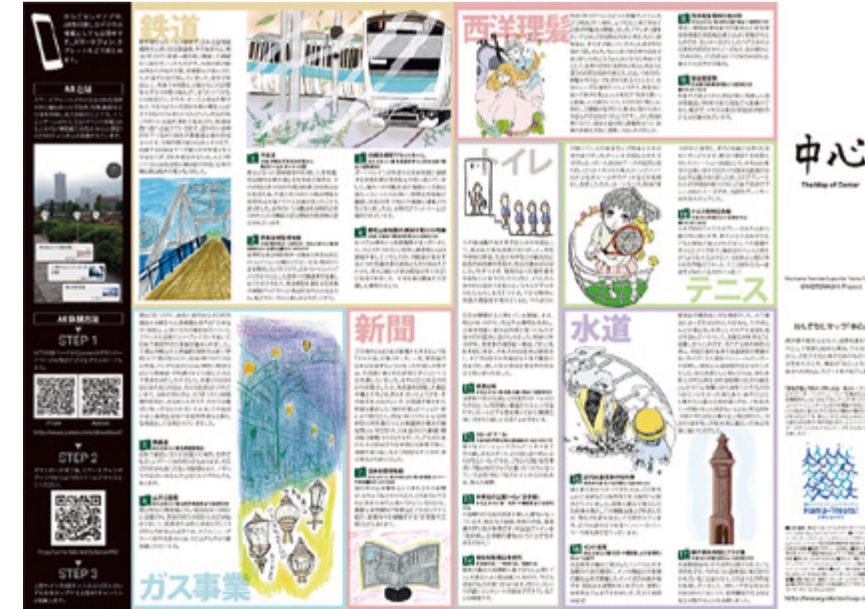
芸術に出逢う街、横浜。表面では美術、演劇、音楽、映画など様々な表現を楽しめる場所、育む場所。裏面では街の様々な場所で見られるパブリックアートの中からそのごく一部を紹介しています。

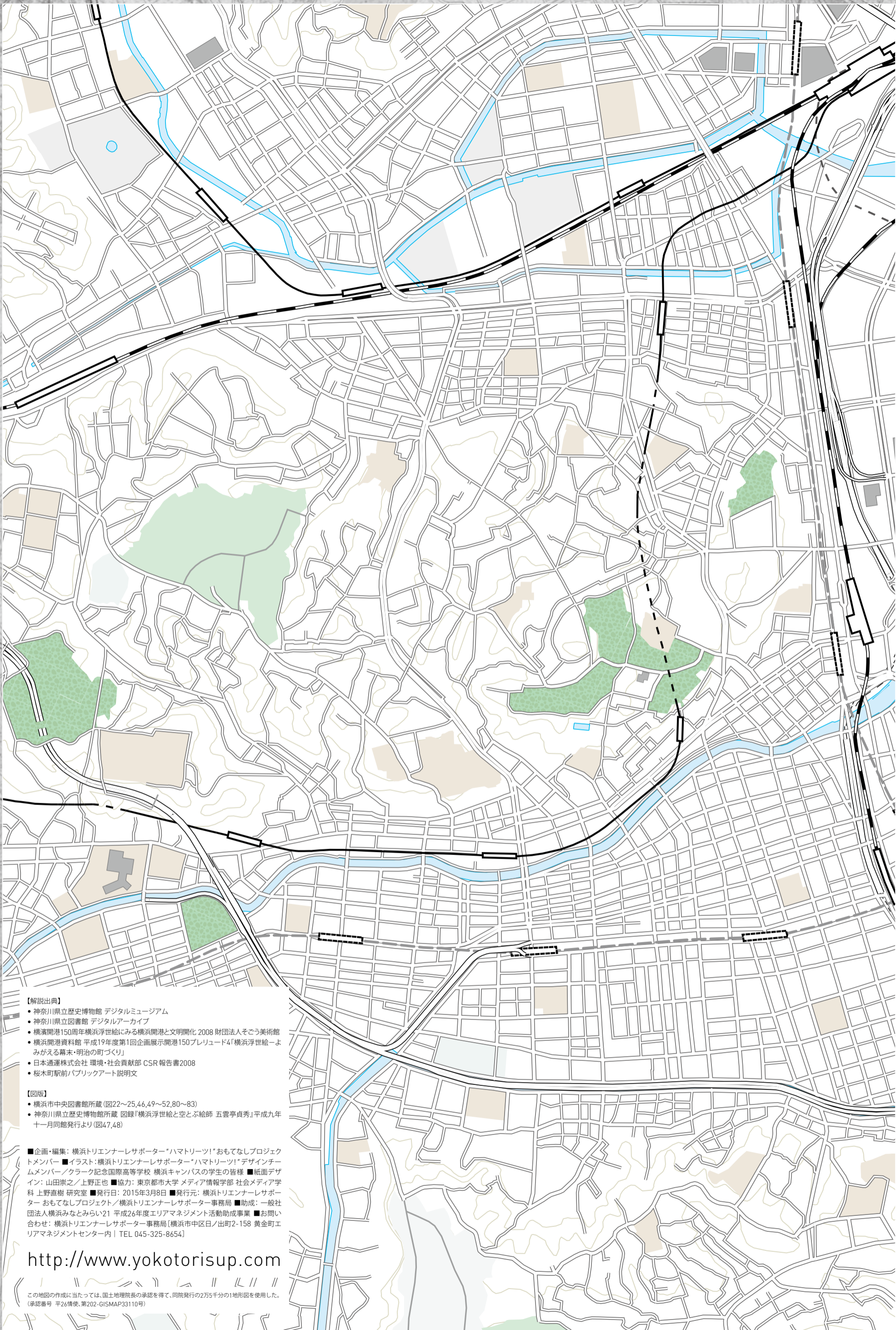


おもてなしマップ『中心』

The Map of "Center"

横浜港の歴史とともに、国際色豊かな都市として発展し始めた横浜。そんな背景から、さまざまな日本で初めてのもの・ことが生まれました。横浜が「中心」となり発信された文化とスポットを紹介しています。





【解説出典】

- 神奈川県立歴史博物館 デジタルミュージアム
- 神奈川県立図書館 デジタルアーカイブ
- 横浜開港150周年横浜浮世絵にみる横浜開港と文明開化 2008 財団法人そごう美術館
- 横浜開港資料館 平成19年度第1回企画展示開港150プレリウド4「横浜浮世絵—よみがえる幕末・明治の町づくり」
- 日本通運株式会社 環境・社会貢献部 CSR 報告書2008
- 桜木町駅前パブリックアート説明文

【図版】

- 横浜市中心図書館所蔵 (図22~25, 46, 49~52, 80~83)
- 神奈川県立歴史博物館所蔵 図録『横浜浮世絵と空とぶ絵師 五雲亭貞秀』平成九年十一月同館発行より (図47, 48)

■企画・編集：横浜トリエンナーレサポーター“ハマトリーツ”おもてなしプロジェクトメンバー ■イラスト：横浜トリエンナーレサポーター“ハマトリーツ”デザインチームメンバー/クラーク記念国際高等学校 横浜キャンパスの学生の皆様 ■紙面デザイン：山田崇之/上野正也 ■協力：東京都市大学 メディア情報学部 社会メディア学科 上野直樹 研究室 ■発行日：2015年3月8日 ■発行元：横浜トリエンナーレサポーター おもてなしプロジェクト/横浜トリエンナーレサポーター事務局 ■助成：一般社団法人横浜みなとみらい21 平成26年度エリアマネジメント活動助成事業 ■お問い合わせ：横浜トリエンナーレサポーター事務局 [横浜市中区日ノ出町2-158 黄金町エリアマネジメントセンター内 | TEL 045-325-8654]

<http://www.yokotorisup.com>

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。
(承認番号 平26情使_第202-GISMAP33110号)